

*学術的観点から歴史的事実をありのままに表現するため、一部に現代の差別的表現が含まれている場合があります。本誌における氏名・所属等は2020年度時点のものです。最新の情報は公式WebサイトおよびSNSをご覧ください。

[公式 Web サイト]

日本常民文化研究所 <http://jominken.kanagawa-u.ac.jp/>

非文字資料研究センター <http://himoji.kanagawa-u.ac.jp/>

国際常民文化研究機構 <http://icfcs.kanagawa-u.ac.jp/>

[公式 SNS]

Facebook <https://www.facebook.com/jomin.kanagawa.univ/>

Twitter https://twitter.com/jomin_official/

YouTube <https://www.youtube.com/channel/UCbYukzC1LpryLpOiHnn07mg/>

編集後記

『神奈川大学日本常民文化研究所年報2020』をお届けいたします。日頃より、日本常民文化研究所（以下、常民研）の研究活動にご協力いただいている皆さまには、所員・事務局員一同、心より感謝申し上げます。常民研の年報としては、本年度で第7号目の刊行となります。

本年度は所長に安室知教授が就任し、研究活動の体制が再構築されました。すなわち、これまで取り組んできた共同研究を、新たにA. 基幹共同研究、B. 基盤共同研究、C. 個別共同研究と系統立て、明快な位置づけと目標設定のもとでより積極的な研究活動を推進する土壌を整備したものです。

とはいえ、昨年度末より世界的な災禍となったCOVID-19のパンデミックにより、調査研究活動を自粛せざるを得ない状況が続きました。この感染症拡大によって代えがたい生命や生活基盤を喪失された方々が世界中にいらっしゃることを、この場を借りて心よりお悔やみ申し上げます。我々の活動においても、学外での調査研究活動や国際交流は、現実的に極めて厳しい状況下で実施し得る方法の模索を強いられることとなりました。しかしながら、せめてもの救いはオンライン環境の整備が進んだことで、より多くの方々に公開研究会やフォーラムにご参加いただけたことかと思います。同様の観点から2020年9月にはFacebook、Twitter 公式アカウントの設置、翌年3月にはYouTube 公式チャンネルを開設し、「民具を語る 6」の動画配信など、オンラインでの情報発信の強化を図ってまいりました。

今後とも、常民研の活動にご支援、ご協力をたまわりますよう、お願い申し上げます。

日本常民文化研究所

須崎 文代

[編集]

須崎 文代 越智 信也 木村 美江

神奈川大学日本常民文化研究所 年報 2020

発 行 日	2022 年 3 月 3 日
編集・発行	神奈川大学日本常民文化研究所 〒 221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋 3-27-1 TEL 045-481-5661 (代表) http://jominken.kanagawa-u.ac.jp/
印 刷	株式会社精興社
雑誌コード	ISSN 2189-9509

著作権者の文書による許諾がないかぎり、法律が認める場合を除き、本書の全部もしくは一部を複製すること、あるいは送信公開することを禁じます。